

# 令和2年度 つむぎ高梁児童発達支援 事業報告書

【チームリーダー 花巻友里恵】

## (1) 基本方針

各職員が児に合わせた課題を設定することに意欲的に取り組んだ。定期的な担当の変更に  
よりチーム職員全員が利用児全員の支援を意識できた。お互いに情報を共有したり複数の職  
員の視点から支援を取り組んだりしたことが児の成長につながったように感じる。利用児の  
保護者からの情報を受けて、つむぎ高梁の取り組みが広く認知され新規利用児も増えた。今  
後も様々な職員の視点を取り入れて個々に応じた支援の構築を目指していきたい。

## (2) 各運営方針

### ①利用者の幸せの追求

#### 1 発達支援

※新書式の導入

- ・個別支援計画書・評価書・引き継ぎ書 活用

達成：親書式に変更した。特に引き継ぎ書に関してはつむぎで重点的に取り組んでい  
る取り組みをもとに記載できるようになり、移行支援会議の場で有効に活用できた。

※療育実践研究計画・発表の実施（1回／2か月）

- ・小集団療育におけるルールのある遊びの充実
- ・一人でお勉強における一人ひとりの子どもに応じたワークシステムの構築

達成：低年齢児は主に感覚統合遊び、高年齢児は小集団での設定遊び（人との関わり  
へのアプローチ）の取り組み実施により、興味関心の幅が広がり他者への興味関心  
が強くなった児が増えた。低年齢児の遊び込む力の獲得が課題に残った。

※障害特性に応じた再構造化の実施(1回/月)

- ・支援会議で検討していく

未達成：月に1回の再構造化の実施は難しい状況にあった。午後の利用児に適した環  
境設定は後期には実施できたように感じる。

※公開療育の実施

- ・支援会議で指摘事項の見直しの検討していく

達成：指摘事項をもとに環境の見直しが行えた。また他事業所の公開療育から学んだ  
点も積極的に取り入れた。引き続き定期的に見直していく。

#### 2 家族支援

※魅力的な親子療育の実施

- ・保護者間と職員での目的の共有がされるための親子療育支援計画の作成
- ・つむぎ高梁における、親子療育プログラムの整備
- ・クリスマス会の実施（12月12日）

未達成：親子活動への参加数がおおむね1家族～3家族であった。夏祭り・お正月遊びを実施した際には5～6家族の参加があった。内容の工夫・呼びかけの工夫を課題として引き続き取り組む。

#### ※相談支援体制の充実

- ・事業所内相談を積極的に活用
- ・相談内容や支援を職員で共有していくことを心掛ける

未達成：支援計画の説明以外にも保護者より要望を受けて事業所内相談を実施することは多かった。職員間での共有の在り方について見直していきたい。

### 3 地域支援

#### ※保育所等訪問の安定した支援の実施

- ・四歳児以下対象(1回/2か月)
- ・五歳児については、つむぎ高梁(放課後デイサービス)、つむぎ落合での対象となるため、積極的な情報共有を実施していく。
- ・評価の充実 アセスメントシートを用いた支援の実施（幼児期1回/2か月）

達成：定期的な訪問実施が行えた。園からの要望で訪問後に情報共有を行ったケース有。またアセスメントシートの導入により支援のポイントを絞りやすくなっている。

#### ※スクラム会議における適切な情報提供の実施

- ・評価に基づき子どもの強みと課題を整理した情報発信

未達成：評価に基づいた児の様子は提供できたが、集団指導の場である園に応じた伝え方について今後も検討の必要がある。

#### ※ハッピーサークル活動の充実

- ・つむぎ座談会&情報提供の実施 11月7日(土)開催

達成：児童発達支援利用の保護者を中心に5名参加。保護者主体の話の場となりで食事についての情報共有・交換が行えている。

## ② つどう人の幸せの追求

### 1 人財育成

#### ※担当児制の導入

- ・一人ひとりの職員が子どもの成長を実感できるようにしていく

達成：定期的な担当の入れ替えを行った。様々な職員が担当を担ったことにより、角度の違ったアプローチ方法が実践でき、児の成長につながりやすかった。

#### ※職員学習会の実施（1回/2か月）

- ・療育計画実践研究発表の実施

- ・つむぎ高梁(児童発達支援)でチームとして取り組むことを心掛ける

達成：実践発表に向けてチームで情報を共有したり、取り組み内容を検討したりして取り組むことができた。

※支援会議の実施（月 1 回）

- ・個別支援計画書を基本とした支援の検討、行動面の問題観察シートの作成など

未達成：月 1 回の実施は行っている。時間の確保が難しく、児の利用状況に応じて実施日を決めていたこともあり、情報の共有中心で行うことが多かった。

※階層別研修会への参加

- ・各職員のスキルアップを目指す

達成：1～3年目の職員が研修に参加し職員学習会で発表を行ったことにより、コミュニケーションスキルについて学んだだけでなく、PPTの作成や人に分かる伝え方についても学ぶ機会となった。

## 2 信頼と共感の持てる職場づくり

※法人理念と法人スローガンを大切にした職場づくり

- ・職員ケース会議での理念とスローガンの確認

- ・事業計画を共有し、各職員が自分の役割を認識して取り組むことができる組織づくり。

未達成：理念・スローガンの確認は行っているが、支援会議にて事業計画の再共有を行う時間を設けることは難しかった。

※朝礼・昼礼・終礼の実施（1/毎日）

- ・情報共有 ・スタッフからの疑問や問題の吸い上げ ・ヒヤリハット等の、事実確認や原因、対策についての検討

未達成：毎日実施する時間を設けることが難しく、wawaでの共有のみとなることも多かった。

※キャリアパス制度の充実

- ・OJTの実施 ・目標管理活動の実施 ・人事考課の実施

未達成：定期的な面談をもとに目標や課題・思いは共有できた。目標達成に向けて計画立てて取り組んでいたが、予定通りに進まない一面も見られた。その都度の計画の見直しが今後の課題である。

※職員親睦会の実施（3月13日）※理事、監事、新採用職員含む。

- ・職員のいろいろな面を確認することができる会となるように心掛ける

未達成：コロナウイルスの為、未実施

### ③ 組織の安定と発展の追求

#### 1 リスク対策、苦情解決体制や保護者アンケート、

##### 自己評価の結果における継続的改善活動の実施

###### ※継続的改善活動の実施

未達成：意見・要望はその都度取り組みを検討してきたが、ヒヤリ等の書式の活用が少なかった。

###### ※安全衛生点検チェックの実施

達成：各担当がチェックを実施し、修繕や整理が必要な場所は担当やチームで修繕・整理にあたっている。

###### ※保護者向けアンケート・事業所向け自己評価の実施

- ・活動を通してよりよい支援を追及していく。
- ・対策や原因の追究などは、職員が一丸となって整理していくことを心掛ける。

未達成：アンケートにより課題が明確になった。環境は整えているが支援内容に関しては次年度以降の課題として取り組んでいく。

#### 2 情報公開の充実

##### ※Facebookの積極的活用

- ・保護者アンケートなどで出てきた情報提供の課題を活かしていく

達成：児の写真掲載を中心に記事作成を行うようになって、保護者から記事を見ましたという報告が増えた。

### 【職員配置】

職 種	常勤職員数		非常勤職員数		備 考
	計 画	実 績	計 画	実 績	
管理者	1名	1名			児童発達支援管理者兼務
保育士	4名	3.5名	1名	1名	11月異動、兼務変更
児童指導員	1名	2名	名	名	1月入職
言語聴覚士	1名	0名			1月退職

### 【実績報告】

児童発達支援						
	職員数		開 所 日		延べ稼働人数	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
4月	4人	4人	25日	25日	187人	204人
5月	5人	5人	23日	23日	184人	175人
6月	5人	5人	26日	26日	221人	247人
7月	5人	5人	24日	24日	204人	251人
8月	5人	5人	23日	23日	195人	264人

9月	5人	5人	24日	24日	216人	288人
10月	5人	5人	27日	26日	243人	308人
11月	5人	5人	23日	23日	218人	304人
12月	5人	5人	24日	23日	228人	318人
1月	5人	6人	23日	23日	230人	308人
2月	5人	5.5人	22日	22日	220人	312人
3月	5人	5.5人	26日	26日	273人	378人
計	4.9人	5人	290日	288日	2,619人	3,357人

保育所等訪問支援						
	職員数		開所日		延べ稼働人数	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
4月	1人	1人	4日	4日	10人	13人
5月	2人	2人	5日	5日	10人	10人
6月	2人	2人	2日	2日	10人	9人
7月	2人	2人	6日	6日	10人	13人
8月	2人	2人	4日	4日	10人	7人
9月	2人	2人	4日	4日	10人	13人
10月	2人	2人	5日	5日	10人	14人
11月	2人	2人	7日	7日	10人	14人
12月	2人	2人	4日	4日	10人	17人
1月	2人	2人	5日	5日	10人	14人
2月	2人	2人	4日	4日	10人	18人
3月	2人	2人	4日	4日	10人	19人
合計	1.9人	1.9人	54日	54日	120人	168人

日中一時支援						
	職員数		開所日		延べ稼働人数	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
4月	3人	3人	25日	25日	150人	130人
5月	3人	3人	23日	23日	138人	102人
6月	3人	3人	26日	26日	195人	190人
7月	3人	3人	24日	24日	180人	168人
8月	3人	3人	23日	23日	172人	148人
9月	3人	3人	24日	24日	192人	207人
10月	3人	3人	27日	26日	216人	226人
11月	3人	3人	23日	23日	195人	218人
12月	3人	3人	24日	23日	204人	189人
1月	3人	3人	23日	23日	207人	208人

2月	3人	3人	22日	22日	198人	225人
3月	3人	3人	26日	26日	234人	263人
合計	3人	3人	290日	288日	2281人	2270人

# 令和2年度 つむぎ高粱放課後等デイサービス 事業報告書

【チームリーダー 渡邊昌人】

## (1) 基本方針

- ① 事業所内相談において家庭の様子、訪問支援において学校での様子、療育でのアセスメントおよび行動観察から児の特性を把握して支援計画の目標を設定した。
- ② 昼礼会議およびの支援会議においてアセスメント評価をもとに成長と課題を共有した。昼礼記録にて家庭との事業所内相談の情報を共有した。
- ③ 保護者からの要望を受けて、迅速に個別課題を計画して取り組んだ。  
今後、個々の職員の問題解決能力を高められるよう研修・研鑽を積む。

## (2) 各運営方針

### ①利用者の幸せの追求

#### 1 発達支援

##### ※新書式の導入

・児童のニーズと中長期的な変化や成長の姿を意識した支援計画書の作成及び、的確な課題実施につながる支援記録書への具体的な内容の記載。

達成：アセスメントおよび医療の情報から支援計画を組み立てた。個々の取り組みの中で大切な部分に蛍光マーカーで印をした。個別の設定を支援記録に記載することで、各職員で統一した支援を実施できた。

・支援計画と連動した引継ぎ書の活用。

達成：支援計画と連動した引継ぎ書の作成ができた。

##### ※療育実践研究計画・発表の実施（1回/2か月）

・小集団設定活動におけるアナログゲームの実践。（隔週実施）

WII ゲームとアナログゲームを隔週で実施。アナログゲームでは「ルール理解」を目標にこども視点でわかりやすい手順書を作成し取り組んだ。小集団活動後に自由遊びに取り入れたことで、子どもどうしで実施する姿が多くみられた。玄関に小集団活動のねらい（太田ステージの発達段階に合わせて）掲示することで、保護者にも取り組みの意図を理解してもらいやすくなったと感じる。

・見え方や視覚認知のアセスメントの読み取りと課題や宿題の取り組み方の実践。

見直し：ストラテジーシートを活用した支援に内容を変更して実施した。

・NCプログラムを活用した児童発達支援事業からの継続的な支援の引継ぎと適切な支援の実施。

達成：支援内容を的確に引継ぎ、切れ目のない課題実施と支援につながった。

※ 障害特性に応じた構造化の実施（1回/月）

未達成：視覚的掲示は月に1回以上実施。ハード面の構造化は年間4回の実施。

- ・ 昼礼会議での情報共有、支援会議での検討

達成：昼礼会議および支援会議では、アセスメント評価をもとに成長と課題を共有した。昼礼記録にて家庭との事業所内相談の情報を共有した。療育実践ケースにおいて、支援会議の中で毎月検討を重ね、チームとして支援を実践できた。

※公開療育の実施

- ・ 支援会議で指摘事項の見直しの検討

達成：他事業所の職員からの意見やアイデアは、自分達には気づきにくい視点のものがああり、改善につながった。構造化の視点からスケジュールおよびエリアの物理的構造化に向けて、常に見直していくことが必要である。

※学童期および成人期の余暇支援活動の充実（つむぎサークル 毎週土曜日）

- ・ 利用者の将来の生活をイメージして、興味関心を広げるとともに、様々な余暇の経験を積む。

達成：大まかに①小学校低学年向けの活動②高学年以上の活動を設定して通年で実施できた。活動場所や内容に限られる中、上下半期をつむぎ高梁とつむぎ落合の計画を交代とすることで、バラエティに富んだ計画ができた。10名程度の安定した利用があった。

- ・ 自信を持って行動できる生活場面を一つずつ増やせるよう、課題設定および支援を行う。

達成：クッキング活動をほぼ毎回計画することで経験を積み重ね、スキルの向上が見られた。

※不登校児支援の実施（フリースペース 月～金 9:00～13:00）

- ・ 適切な配慮により家庭以外で安心して過ごせる居場所を提供し、自己肯定感につながる活動の充実を図る。

達成：利用開始時は興味のある内容や得意なことを軸に支援を行い、定期的に利用できるよう配慮した。個別にスモールステップの設定を行い、安心感とともに自己肯定感の積み重ねを重視した支援を行った。

- ・ 家庭及び各所属機関と協働して、適切なタイミングで次のステップを踏めるように環境を整える。

達成：学校への行き渋りや不登校の状況で利用を始め、学校へ通えるようになってからも週に1回程度計画的につむぎを利用し、ストレスの軽減を図る利用があった。毎回気持ちレベルシートによる聞き取りを行い、気持ちの変化を細かく把握した。また児の思いを学校と共有することにより、支援の方向性や配慮点について情報交換ができた。



## 2 家族支援

### ※相談支援体制の充実

・保護者からの発信を昼礼により把握と周知、事業所内相談の実施とシートの活用。

達成：WAWA 昼礼記録において事業所内相談の記録を回覧した。児の家庭での様子をチームとして把握できた。

## 3 地域支援

### ※保育所等訪問の安定した支援の実施

・学童期（1回/3か月）

達成：学期に1回の訪問支援ができた。学校によっては、訪問目的を共有する必要があった。

・5歳児（1回/2か月）。児童発達支援との積極的な情報共有を行う。

達成：2か月に1回の訪問支援を実施。

・所属機関や保護者の要望があった際には迅速に対応して実施する。

達成：家庭あるいは学校の要望により学期に複数回の実施ケースあり。

家庭あるいは園の要望があった際は児童発達支援 TL の訪問を実施した。

・アセスメントシートによる毎回の評価と目標設定の実施（幼児期1回/2か月、学童期1回/3か月）。昼礼会議や支援会議において、報告を行い療育支援員と情報を共有する。

達成：訪問アセスメントを通年実施し、児の特性の把握とともに明確な目標設定ができた。訪問記録を WAWA にて回覧し、いつでも確認できるようにしている。

### ※スクラム会議における適切な情報提供の実施

・アセスメント評価及び特性による児の強みと課題を整理した説明の実施。支援計画書の活用。

達成：アセスメントや医療からの情報をもとに現時点での成長と課題および特性を明確に説明した。中長期的な児の目標と姿、そのために必要な次のステップを伝えて支援計画を提案した。

### ※ハッピーサークル活動の充実

・つむぎ座談会&情報提供の実施 担当 3/6（土）

達成：ワーキングメモリについて話題提供をした。実施日は3/24（水）に変更。

・講演会の実施 11/28日（土）開催予定 ※吉備中央町

達成：感覚統合の視点から講師に を招き実施した。

### ※成人期の引きこもり支援の充実（月曜日 9:00～11:00 作業活動・茶話会）

・家庭以外で安心して過ごせる居場所の提供とともに、作業活動の実施により達成感や自己有用感につなげる。また家族以外の人と関わる地域とのつながりの場として茶話会を実施する。

未達成：利用者が新型コロナウイルスの不安により利用が少なかった。

・相談支援センターつむぎおよび総合相談センターとの情報共有を行う。  
未達成：利用が少なく情報共有が必要なケースがなかった。

## ②つどう人の幸せの追求

### 1 人財育成

#### ※支援会議の実施(月1回)

- ・個別支援計画書を基本とした支援の検討、行動面の問題観察シートの作成。
- ・支援における児の成長を確認し、達成感を共有する。

達成：個別支援計画および評価とアセスメント評価シートの回覧を行った。その中で取り組みと成長及び特性把握と支援のポイントとなる内容を明確にして周知した。また、個別に支援会議で取り上げて説明を行った。

#### ※職員学習会の実施（1回/2か月）

達成：今年度の取り組みを次年度の支援に活かして実践できる取り組みを行う。

- ・療育実践研究発表の実施

達成：11月28日の吉備中央講演会後に実践発表を実施した。

- ・つむぎ高粱（放課後等デイサービス）でチームとして取り組むことを心掛ける

達成：計画立案の段階で役割の分担を明確にすることにより、スムーズな実施ができた。普段の支援の中で決定事項の周知や報告がタイムリーにできていない内容がいくつかあった。

#### ※階層別研修会への参加

- ・各職員のスキルアップを目指す

達成：児童発達支援管理責任者研修（TL）

### 2 信頼と共感の持てる職場づくり

#### ※法人理念とスローガンを大切にした職場作り

- ・支援会議において理念とスローガンの確認

達成：毎月1人ずつ担当を決めて、支援会議において確認した。

- ・事業計画を共有し、各職員が自分の役割を認識して取り組むことができる組織づくり。

達成：毎回の支援会議において総会の資料と事業計画を確認しながらチームとしての取り組みと目標を確認した。

#### ※昼礼の実施（毎日）

- ・スタッフからの疑問や問題の吸い上げ

達成：昼礼会議にて気になる点の確認を行った。

- ・ヒヤリハット等の事実確認や、原因、対策についてのチーム検討

未達成：チーム検討したケースが少なかった。

※キャリアパス制度の充実

- ・OJTの実施
- ・目標管理活動の実施
- ・人事考課の実施

達成：各スタッフとの面談も実施。

※職員親睦会の実施（9/5）

- ・各事業所グループ対抗での余興ゲーム実施により、チームでの共感や達成感につなげる。

未達成：新型コロナウイルスのため未実施。

**③組織の安定と発展の追求**

1 リスク対策、苦情解決体制や保護者アンケート、

自己評価の結果における継続的改善活動の実施

※継続的改善活動の実施

※安全衛生点検チェックの実施

※保護者向けアンケート・事業所向け自己評価の実施

※自主点検の実施（保育所等訪問支援）

- ・活動を通してよりよい支援を追及していく。

達成：各項目の実施ができた。安全点検は次年度取り組みのシステムを変更。

自己評価を受けて改善実施。

- ・対策や原因の追究などは、組織的に職員が一丸となって整理していくことを心掛ける。

達成：支援における整理や検討ができた。各対策については次年度委員会の設置

2 情報公開の充実

※ Facebook の積極的活用

- ・保護者アンケートなどで出てきた情報提供の課題を活かしていく

達成：毎週フェイスブックの記事をアップした。活動中の顔写真の掲載を実施。

**【職員配置】**

職 種	常勤職員数		非常勤職員数		備 考
	計 画	実 績	計 画	実 績	
管理者	1名	1名			児童発達支援管理者兼務
保育士	3名	2名	1名	1名	
福祉経験者	名	名	名	1名	他事業所兼務
指導員他	名	名	2名	3名	運転手含む

**放課後等デイサービス**

	職員数(管理者含む)		開 所 日		延べ稼働人数	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
4月	4人	4人	25日	25日	225人	203人
5月	4人	4人	23日	23日	207人	230人

6月	4人	4人	26日	26日	234人	276人
7月	4人	4人	24日	24日	228人	252人
8月	4人	4人	23日	23日	218人	239人
9月	4人	4人	24日	24日	216人	270人
10月	4人	4人	27日	26日	243人	299人
11月	4人	4人	23日	23日	207人	264人
12月	4人	4人	24日	23日	228人	253人
1月	4人	4人	23日	23日	218人	184人
2月	4人	4人	22日	22日	209人	194人
3月	4人	4人	26日	26日	247人	181人
計	4人	4人	290日	288日	2,680人	2,845人

保育所等訪問支援						
	職員数		開所日		延べ稼働人数	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
4月	3人	3人	5日	5日	17人	18人
5月	3人	3人	3日	3日	19人	4人
6月	3人	3人	8日	8日	20人	32人
7月	3人	3人	8日	8日	17人	19人
8月	3人	3人	0日	1日	0人	1人
9月	3人	3人	6日	6日	20人	24人
10月	3人	3人	8日	8日	21人	26人
11月	3人	3人	5日	5日	20人	8人
12月	3人	3人	5日	5日	17人	19人
1月	3人	3人	8日	8日	17人	27人
2月	3人	3人	6日	6日	18人	26人
3月	3人	3人	5日	5日	18人	6人
合計	3人	3人	67日	68日	204人	210人

日中一時支援利用者・開所日数						
	職員数		開所日		延べ稼働人数	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
4月	3人	4人	25日	25日	225人	198人
5月	3人	3人	23日	23日	207人	204人
6月	3人	3人	26日	26日	234人	246人
7月	3人	3人	24日	24日	228人	233人
8月	3人	4人	23日	23日	218人	207人
9月	3人	3人	24日	24日	216人	219人
10月	3人	3人	27日	26日	243人	238人

11月	3人	3人	23日	23日	207人	215人
12月	3人	4人	24日	23日	228人	235人
1月	3人	4人	23日	23日	218人	210人
2月	3人	3人	22日	22日	209人	223人
3月	3人	4人	26日	26日	247人	222人
合計	3人	3.4人	290日	288日	2680人	2650人

# 令和2年度 つむぎ落合 事業報告書

【チームリーダー 岩山祐貴】

## (1) 基本方針

つむぎ落合という療育機関が関係機関に認知され、療育利用の紹介を受け、利用者の増加が見られた。また、保育所等訪問を積極的に受け入れてくださる機関の増加や機関からの要望を受けるケースも増えてきている。認知度が高まってきた分、療育内容の質の向上を図り、利用者をはじめ関係機関とのこれまで以上の信頼関係の構築を目指したい。不登校ケースの受け入れ状況もあり、より個々に応じた支援の枠組みの構築に力を入れていきたい。

## (3) 各運営方針

### ①利用者の幸せの追求

#### 1 発達支援

\* 個別支援計画書・評価書の充実

・新書式導入により、他機関との連携に生かす

達成：実地指導をもとに利用者への事業説明が丁寧に行えるようになった。

また計画立案の内容は、生活場面での困り感を取り入れて実施することで、児の成長に繋がるケースが多くみられた。

\* ケース会議の実施

・行動面の問題観察シートを活用し事例検討

未達成：巡回相談を通して行動面の対処を実践することができた。日常的にシートを活用した事例検討の実施は不十分であり、次年度への課題である。

\* 療育実践研究発表の実践発表（1回／2か月）

達成：感覚統合をテーマとした療育実践発表を講演会で発表。

・コミック会話を活用した、コミュニケーションスキルの向上支援

未達成：コミック会話の取り組み未実施。プレイエリアでの取り入れを実践したが、学びに繋がりにくかった。今後は個別に応じてワークの中での取り入れを実施する。

・肯定的に他者を受け入れる力を育てる取り組み

達成：小集団活動（Wii ゲーム）の中で、振り返りの時間を設け相手の良かったところ発表を続けた。設定活動以外の場面では、児によっては、汎化が難しいケースも多かった。

・小集団アナログゲームによる遊びの充実

達成：アナログゲームの小集団活動に期待を持つ児が多く見られるようになった。

小集団の活動で実施した内容、手段をそのままプレイエリアに設置することで、児が

展開しながら遊ぶ姿も見られた。今後も小集団活動からプレイエリアの遊びに移行する取り組みを広げていきたい。

#### \*公開療育の実施

達成：年間2回実施。他部門からの意見を通して、環境を整えていくことができた。今後も継続して行い、改善を積み重ねていく。

#### \*魅力的なつむぎサークルの実施

・つむぎサークル活動内容の整理、新規外部資源との繋がりを広げる。

未達成：コロナの影響もあり、外部に出る活動実施が困難であった。サークル活動では、スケジュール提示の作成の流れや運用の手段を統一し、児が見通しを持って円滑に運営しやすい状況になってきている。

・クリスマス会の補助(12月19日)

未達成：落合からの補助はなし。

## 2 家族支援

#### \*相談支援体制の充実

・業所内相談報告書の積極的な活用

達成：申し送りの際に、書面による聞き取りを実施し、必要に応じて事業所内相談が実施できた。

・意見箱の設置

達成：法人共通の意見箱を継続して設置しているが、直接伝えてくれる方が多く利用はなし。

#### \*ハッピーサークル活動の広報

・申し送りの際に個別に知らせる習慣をつける

未達成：広報から参加につながるケースは1ケースのみであった。保護者の状態や活動参加の必要性が検討されるケースを選別した広報を実施していきたい。

#### \*親睦会の実施

未達成：コロナの状況により未実施。

## 3 地域支援

#### \*園、学校訪問の実施（年長児：1回/2か月、学童期：1回/3か月）

・新書式保育所等訪問支援個別支援計画書・評価書の導入により、支援目標を明確にした支援の実施。

達成：支援目標を設定することができるようになり、訪問時の着目すべきポイントの整理がしやすくなった。アセスメント状況に応じて機関とのやりとりができるため、根拠に基づいた発信へとつながっていることが実感できた。

\*スクラム会議における適切な情報提供の実施

・報告メモの活用徹底→子どもの強みと課題を整理して説明

未達成：管理者がすべてのスクラム会議に参加となったため、報告メモの活用を実施できていない。通所支援計画をもとに情報を整理して説明を実施している。

\*ハッピーサークル活動の充実

・講演会の実施

達成：令和2年10月24日（土）に森川先生による「そうだったのか！子どもの気になる行動の理由～感覚統合の視点から～」の講演会とつむぎ高粱・つむぎ落合による感覚統合に関する実践発表、トークセッションを実施。

・つむぎ座談会&情報提供の実施 7月4日(土)開催

達成：参加者が広がりにくい状況があり、曜日変更をした。

・地域の行事情報の収集、参加方法の検討。

未達成：コロナの状況もあり、イベントが少なく情報が少なかった。

## ② つどう人の幸せの追求

### 1 人財育成

\*法人理念、スローガンの事務所掲示

・日頃から目にすることで目的意識を持った業務の取り組みに繋げる。

達成：事業所掲示を実施。支援会議の中でも毎月唱和することにより、意識向上の取り組みも行った。

\*職員学習会の実施（1回/2か月）

・療育実践研究発表のチームでの役割を持った作成と発表、研修報告の実践と検討。

達成：感覚統合をテーマに療育実践を行った。実践、報告書の作成に当たり各職員役割を持ちながら進めることができた。実践が日常の療育にも繋がり、支援の充実に活かすことができた。

\*職員ケース会議の実施（月1回）

・行動面の問題観察シートを活用した事例検討、具体例を用いたKYTの実施。

未達成：年間3回の実施となった。

・個別支援計画書に基づく、支援方針の検討と共有

達成：支援会議の中で、事例ケースを挙げて共有を実施した。

\*研修会への積極的な参加

・各職員のスキルアップを目指す

未達成：今年度は研修が中止になるケースが多かった。

### 2 信頼と共感の持てる職場づくり

\*昼礼会議の実施（毎日1回）



・タイムリーな情報共有、相談できる機会を増やす  
達成：日頃から各職員より報告、相談が挙げられたため、都度対応策を検討することができた。

・ヒヤリハット等の、事実確認や原因・対策についての検討を実施  
未達成：ヒヤリハットの積極的な活用が不十分であった。活用の方向性を共有し、リスク管理意識をチームとして高めていきたい。

#### \*キャリアパス制度の充実

・OJT活動の実施、目標管理活動の実施、人事考課の実施と面談  
達成：階層に応じて、OJT・目標管理活動は実施。人事考課の実施の面談を実行できている。目標管理活動について、達成の評価の指標が明確に設定できる内容の検討が課題であった。

#### \*職員親睦を図る

・職員同時刻に休憩を確保する日の設定（週1回）  
未達成：コロナ対策のため、同時刻で集まる機会は避けるようにしたが、日常的にコミュニケーションを図る機会は多くとれていた。

・職員親睦会の実施（7月4日）  
未達成：コロナの影響により未実施。

### ③ 組織の安定と発展の追求

#### 1 リスク対策、苦情解決体制や保護者アンケート、

##### 自己評価の結果における継続的改善活動の実施

#### \*継続的改善活動を受けて改善策の実施

達成：公開療育の実施等、環境を見直すことが定期的にできたこともあり、日頃から改善を継続的に実施できた。

#### \*保護者向けアンケート・事業所向け自己評価の実施後、課題整理と実践。

未達成：自己評価は実施。保護者からはプレイエリアの空間が狭く感じるとの意見があった。構造化により遊び込みやすい環境設定により改善を図っている。職員からは、事業に関する情報の認知ができていない点が課題であったため、事業仕組み等も整理して周知できる環境を次年度整えていく。

#### \*報告連絡相談、周知、スケジュール管理の徹底 ※WAWAの活用

達成：継続的に実施できている。

#### \*安全美化点検チェックを使用した環境美化への取り組み

達成：環境改善も随時取り組めた。

\*自主点検の実施

達成：自主点検の実施。(6月)

## 2 情報公開の充実

\*Facebook の積極的活用

・療育の取り組みや課題紹介、環境設定の意図等日頃の取り組みの積極的な発信

達成：発信は継続的に実施。実際の活動の様子を掲載することにより、内容に関心を持った保護者の意見を聞く機会があった。

### 【職員配置】

職 種	常勤職員数		非常勤職員数		備 考
	計 画	実 績	計 画	実 績	
管理者	1名	1名			児童発達支援管理者兼務
保育士	1名	1名	1名	名	
児童指導員	2名	2名	1名	1名	

### 【実績報告】

放課後等デイサービス						
	職員数(管理者含む)		開 所 日		延べ稼働人数	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
4月	4.5人	4.5人	21日	21日	157人	165人
5月	4.5人	4.5人	18日	18日	135人	165人
6月	4.5人	4.5人	22日	22日	165人	163人
7月	4.5人	4.5人	21日	21日	168人	170人
8月	4.5人	4.5人	19日	19日	161人	186人
9月	4.5人	4.5人	20日	20日	160人	173人
10月	4.5人	4.5人	22日	22日	187人	194人
11月	4.5人	4.5人	19日	19日	161人	164人
12月	4.5人	4.5人	20日	20日	170人	173人
1月	4.5人	4.5人	19日	19日	171人	171人
2月	4.5人	4.5人	18日	18日	162人	149人
3月	4.5人	4.5人	23日	23日	207人	209人
計	4.5人	4.5人	242日	242日	2,004人	2,088人

保育所等訪問支援(落合分)						
	職 員 数		開 所 日		延べ稼働人数	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
4月	1人	1人	10日	10日	14人	16人
5月	1人	1人	7日	7日	16人	16人

6月	1人	1人	6日	6日	17人	14人
7月	1人	1人	7日	7日	14人	17人
8月	1人	1人	2日	2日	0人	7人
9月	1人	1人	8日	8日	16人	15人
10月	1人	1人	7日	7日	18人	20人
11月	1人	1人	10日	10日	16人	13人
12月	1人	1人	9日	9日	14人	17人
1月	1人	1人	6日	6日	14人	19人
2月	1人	1人	6日	6日	15人	17人
3月	1人	1人	4日	4日	14人	10人
合計	1人	1人	82日	82日	168人	181人

日中一時支援						
	職員数		開所日		延べ稼働人数	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
4月	3人	4人	21日	21日	147人	156人
5月	3人	2人	18日	18日	126人	160人
6月	3人	2人	22日	22日	154人	163人
7月	3人	2人	21日	21日	157人	153人
8月	3人	4人	19日	19日	142人	166人
9月	3人	2人	20日	20日	150人	170人
10月	3人	2人	22日	22日	176人	174人
11月	3人	2人	19日	19日	152人	156人
12月	3人	4人	20日	20日	160人	165人
1月	3人	2人	19日	19日	161人	166人
2月	3人	2人	18日	18日	153人	136人
3月	3人	4人	23日	23日	207人	人
合計	3人	2.6人	242日	242日	110人	人

# 令和2年度 つむぎ吉備中央 事業報告書

【チームリーダー 花巻優樹】

## (1) 基本方針

諏訪先生の巡回相談を受け、職員間での支援の統一や共有につながった。また実践報告発表に向けて、チームとして支援実践や問題解決を行う中で、各職員からの様々な意見やアイデアを吸い上げることができ、ケース会議等で検討する機会が広がった。

前年度に比べ、幼児期の契約者は増加。所属機関からの見学依頼、訪問後の情報共有の要望も積極性が増してきた。吉備中央町内でのつむぎへの理解度や信頼感が上がってきていることを実感できる1年であった。

## (2) 各運営方針

### ③利用者の幸せの追求

#### 1 発達支援

##### \*新書式の導入

・個別支援計画書・評価書・引き継ぎ書

達成：新書式への導入もスムーズに完了し、評価、計画の実践を行った。

引き継ぎ書は、吉備中央町の書式も参考にしながら、実態の記載方法や必要な支援情報の整理が課題である。

##### \*療育実践研究計画・発表の実施（1回／2か月）

・LD支援の確立、集団アナログゲームの実践研究、ソーシャルスキルトレーニング

未達成：LD支援は未確立。評価の量、必要な支援の整理が課題であるが、現在はLD支援よりも、「聞く力の向上」への要望が高い。求められる支援は変化するため状況に応じて、柔軟に必要な支援の整理をしていきたい。実践研究では諏訪先生の巡回相談を受け、集団アナログゲームから個々の課題支援をソーシャルスキルトレーニング形式で実施した。

##### \*障害特性に応じた再構造化の実施（1回／2か月）OR 随時

達成：プレイエリア、ワーク、インディペンデントワーク、スケジュール等構造化の見直しを実施。諏訪先生の巡回相談がよい機会となった。ただし学童期のスケジュールは今後の課題。

##### \*公開療育の実施

達成：年2回実施。幼児期、学童期の支援や環境美化について検討、再構造化を実施。

\*つむぎサークルの定期的実施

- ・地域や外部資源を活用

未達成：毎週土曜日のつむぎサークルの開催を1年間行った。地域の外部資源の活用は、新型コロナウイルスのため限られた。

\*療育実践研究につながる他施設への視察研修（1回/年）

未達成：新型コロナウイルスの為未実施。

## 2 家族支援

\*魅力ある親子療育の実施

- ・保護者、子ども、職員がつながり、目的が共有される活動立案
- ・親子クリスマス療育(12月12日)

達成：親子療育は、課題のねらいを事前に保護者へ伝えることで、保護者自身がねらいを意識でき、取り組みの様子を共有することができた。クリスマス会では楽しかったという感想が多く上がり、職員も励みに感じることができた。

\*相談支援の充実

- ・事業所内相談支援の積極的活用
- ・保護者との相談内容や支援を全職員と共有していく

未達成：モニタリングや保護者の要望を受けて事業所内相談を実施した。相談内容を全職員と共有することについて課題が残る。

## 3 地域支援

\*保育所等訪問の安定した支援の実施（幼児期：1回/2か月、学童期：1回/3か月）

- ・アセスメントシートによる評価（幼児期1回/2か月、学童期1回/3か月）
- ・新書式の導入（新規保育所等訪問支援個別支援計画書・評価書）

達成：アセスメントシートを活用し、支援計画の目標が定まった。また、幼児期は人との関わりレベルシートを活用し、園でのアセスメント評価ができた。

\*ケース会議における根拠と目的のある情報提供

- ・報告メモの活用徹底→子どもの強みと課題を整理して説明

達成：全職員が状況報告メモを作成。伝えるべきポイントを整理したうえで、会議に参加することができた。

\*ハッピーサークル活動の充実

・つむぎ座談会 in 吉備中央の開催（4/18 5/16 6/20 7/18 8/22 9/19 10/17 11/21 1/23 2/20 3/13 開催予定）

- ・つむぎ座談会&情報提供の実施 9/5日(土)開催
- ・子ども向け地域イベントの出店（10/25 予定 有漢風ぐるまフェスタ）

未達成：新型コロナウイルスの為、地域イベントの出店は中止。

つむぎ座談会 in 吉備中央では親子活動後に設定したことで、幼児期の保護者は参加に

つながりやすかった。

#### \* 広報活動の充実

- ・ Facebook の活用。イベント時は地域広報誌、吉備 TV、山陽新聞等への記事アップ
- ・ 保護者向け掲示エリアの充実

未達成：地域イベントの参加がなく、Facebook の活用に生かすことは難しかった。その代わりに、保護者向け掲示エリアの整理を行い、見やすい環境の設定を実施した。

## ②つどう人の幸せの追求

### 1 人財育成

#### \* 職員学習会の実施（1回/2か月）

- ・ 療育実践研究発表のチームでの役割を持った作成と発表、研修報告の実践と検討

達成：チームの中で考えの統一や検討を行い、情報提供を行うことができた。チームの役割として心の理論やソーシャルスキルトレーニングについての発表を実施した。

#### \* 職員ケース会議の実施（月1回）

- ・ 個別支援計画書を基本とした支援の検討、療育目的の説明（見学対応に沿った TL からの説明）、行動面の問題観察シートの作成、ヒヤリハット等の原因や対策についての検討

達成：月に1回のケース会議を行い、構造化について、諏訪先生の巡回相談に向けた個別ケース検討など、意見交換や支援共有の実施ができた。

#### \* 階層別研修会への参加

未達成：新型コロナウイルスの為、研修の参加が難しかった。その中でも初任者重点テーマ強化研修、児発管更新研修には参加。

#### \* 各階層別役割意識と役割実践

- ・ 各階層別職員の業務マニュアルの作成

達成：各マニュアルファイルの作成が完了した。変更点が出た時点で、随時アップデートする。

### 2 信頼と共感の持てる職場づくり

#### \* 法人理念と法人スローガンを大切にした職場環境作り

- ・ 職員ケース会議で、理念とスローガンの唱和

達成：職員ケース会議で、理念とスローガンの唱和を行い、意識が高まった。

#### \* 朝礼・昼礼・終礼、いずれかの実施を徹底する（毎日）

- ・ 情報共有、スタッフからの疑問や問題の吸い上げ、ヒヤリハット等の事実確認や原因、対策についての検討
- ・ 適切支援や配慮支援への取り組みについて意見

未達成：毎日の連絡会議は、支援や情報共有、課題検討の実施ができた。長期休暇

中の連絡会議の持ち方は工夫が必要である。

\*キャリアパス制度の充実

- ・OJTの実施 新人スタッフ
- ・目標管理活動の実施→事業計画に沿った各役割の理解、自己研鑽
- ・人事考課の実施→成長と期待像のフィードバック

達成：各職員が目標管理、人事考課を完了し、成長や期待する内容について共有ができた。

\*職員親睦会の実施（5月16日保護者親睦会）

- ・保護者と職員とがつながり、お互いの信頼に繋がる目的を持った会の運営
- 未達成：新型コロナウイルスの為未実施。

### ③組織の安定と発展の追求

#### 1 リスク対策、苦情解決体制や保護者アンケート、

##### 自己評価の結果における継続的改善活動の実施

\*継続的改善活動を受けて改善策の実施

- ・意見苦情要望、ヒヤリハット、事故破損報告書、始末書、提案書の実施とチームでの原因分析と対策の検討
- ・安全美化点検チェックを使用した環境美化への取り組み
- ・Wawa オフィスによる報告連絡相談、周知、スケジュール管理の徹底

未達成：継続的改善活動は、チームでの分析や対策について、まずは根本的な原因追及が必要だと感じる。

\*保護者向けアンケート・事業所向け自己評価の実施

- ・保護者の方への公開療育の設定（5月、11月）
- ・評価結果の整理と実践

未達成：保護者向け公開療育は11月のみの実施。3名と少ない参加であるが、好評であった。

\*自主点検の実施

- ・事業運営の整理（児童発達支援・放課後等デイサービス／5月・保育所等訪問／6月）
- 達成：自主点検の実施を行い、非常災害対策計画の作成を行った。

#### 2 情報公開の充実

\*Facebookの普及に向けた取り組み

- ・Facebookの文章を掲示板へ掲示（1回／月）

達成：保護者が興味を持ち、確認する姿も見られる。我が子が記事に載ることで積極的な「いいね」の増進につながりやすい。

\*つむぎ通信と Facebook の見易い情報提供の充実（毎週末）

- ・療育（活動）内容、支援グッズ、支援手立て、支援会議、学習会の報告
- ・構造化、美化活動、衛生活動への取り組み報告

未達成：写真の在り方（顔写真も含めて）文章量、内容など多くの検討要素があり、今後も工夫していきたい。

### 【職員配置実績】

職 種	常勤職員数		非常勤職員数		備 考
	計 画	実 績	計 画	実 績	
管理者	1名	1名			児童発達支援管理者兼務
保育士	3.5名	3.5名	1名	0名	8月退職
児童指導員	0名	0名	0名	1名	8月～1月兼務、1月入職
言語聴覚士	1名	0名	名	名	1月退職
指導員	0名	0名	1名	2名	運転手含む

### 【実績報告】

児童発達支援						
	職員数(管理者含む)		開 所 日		延べ稼働人数	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
4月	5.5人	5.5人	25日	25日	87人	83人
5月	5.5人	5.5人	23日	23日	80人	68人
6月	5.5人	5.5人	26日	26日	91人	91人
7月	5.5人	5.5人	24日	24日	84人	90人
8月	5.5人	5.5人	22日	22日	88人	103人
9月	5.5人	5.5人	24日	24日	96人	112人
10月	5.5人	5.5人	27日	26日	108人	132人
11月	5.5人	5.5人	23日	23日	92人	115人
12月	5.5人	5.5人	23日	22日	103人	106人
1月	5.5人	5人	23日	23日	103人	109人
2月	5.5人	5人	22日	22日	99人	117人
3月	5.5人	5人	26日	26日	117人	144人
計	5.5人	5.3人	288日	286日	1,148人	1,270人

放課後等デイサービス						
	職員数(管理者含む)		開 所 日		延べ稼働人数	
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
4月	5.5人	5.5人	25日	25日	187人	203人
5月	5.5人	5.5人	23日	23日	172人	179人
6月	5.5人	5.5人	26日	26日	195人	231人



7月	5.5人	5.5人	24日	24日	180人	210人
8月	5.5人	5.5人	22日	22日	176人	202人
9月	5.5人	5.5人	24日	24日	180人	180人
10月	5.5人	5.5人	27日	26日	202人	191人
11月	5.5人	5.5人	23日	23日	172人	170人
12月	5.5人	5.5人	23日	22日	184人	160人
1月	5.5人	5人	23日	23日	184人	159人
2月	5.5人	5人	22日	22日	165人	161人
3月	5.5人	5人	26日	26日	208人	218人
計	5.5人	5.3人	288日	286日	2205人	2264人

保育所等訪問支援						
	職員数(管理者含む)		開所日		延べ稼働人数	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
4月	1人	1人	3日	3日	14人	7人
5月	1人	1人	5日	5日	16人	15人
6月	1人	1人	8日	8日	17人	21人
7月	1人	1人	6日	6日	14人	17人
8月	1人	1人	0日	0日	0人	0人
9月	1人	1人	7日	7日	16人	21人
10月	1人	1人	7日	7日	18人	22人
11月	1人	1人	8日	8日	16人	19人
12月	1人	1人	4日	4日	14人	21人
1月	1人	1人	6日	6日	14人	19人
2月	1人	1人	8日	8日	15人	28人
3月	1人	1人	8日	8日	14人	24人
計	1人	1人	70日	70日	168人	214人

日中一時支援						
	職員数(管理者含む)		開所日		延べ稼働人数	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
4月	2人	3人	25日	25日	15人	52人
5月	2人	2人	23日	23日	3人	35人
6月	2人	2人	26日	26日	3人	7人
7月	2人	2人	24日	24日	30人	35人
8月	2人	3人	22日	22日	90人	136人
9月	2人	2人	24日	24日	3人	57人
10月	2人	2人	27日	26日	3人	50人
11月	2人	2人	23日	23日	3人	43人

12月	2人	3人	23日	22日	15人	61人
1月	2人	3人	23日	23日	15人	14人
2月	2人	2人	22日	22日	3人	44人
3月	2人	3人	26日	26日	15人	76人
計	2人	2.4人	288日	286日	198人	610人

# 令和2年度 発達・相談支援センターつむぎ 事業報告書

【ゼネラルマネージャー：佐分利尚孝】

## (1) 基本方針

高梁市だけでなく、吉備中央町においてもつむぎが幼児期、学齢期の発達に何らかの課題がある子どもたちの支援機関として、保護者や関係機関において必要とされる機関として位置付けられているということが顕著に感じられる一年であった。

今後も子ども、保護者、地域が何を求めているのか、ニーズにより添いながら支援を創造しいくと同時に、多様化する支援を担う人財の確保、育成、定着のために、つむぎの支援を通して、自身で成長や貢献を実感することができる職場づくりに努めたい。

## (2) 事業所運営方針(重点施策)

### ① 利用者の幸せの追求

#### ・相談支援ファイルの活用

吉備中央町においては、療育手帳を取得しているお子様を持つ保護者に配布。つむぎからもその趣旨を説明し該当の保護者に手渡していった。有効な活用については今後の課題である。令和三年度より、相談支援ファイルの活用に向けて、花巻 TL がプロジェクトチームに参画の予定となっている。

#### ・保護者や家族を対象とした学習会の実施

ペアレントトレーニング ・就学に関する学習会 ・座談会&情報提供 については計画通り実施。学びや支援を必要としている保護者については、こちらからも積極的に参加を呼び掛けていきたい。

#### ・吉備中央町における、幼児期の支援モデルの確立

つむぎ吉備中央、発達相談支援センターつむぎにおける本人支援、保護者支援、地域支援の形が体制として整ってきた。特に令和3年度に就学を迎える子どもたちも多く、吉備中央町における共通支援シートとリンクして、移行支援会議においても子どもの必要な支援をつなげていく重要な役割を担うものとなっている。今後も支援体制を整備するという視点をもって関係機関と共に支援体制整備に努めたい。

#### ・高梁市における相談支援体制の整備に向けて

たかはし障害者総合相談センターの機能強化は不可欠な状況である。高梁市 第6期障害福祉計画の策定に伴い、福祉課との事前協議で相談機関の機能強化については内容に盛り込んでいった。今後は計画を実現していくために何を、いつ、誰が、どのように実施するのかを組み立てていくことが重要課題であるととらえている。

### ② つどう人の幸せの追求

#### ・キャリアパス制度の充実

キャリアパス規定を整備していった。次年度は役割基準、役職基準を明確にしていきながら、まずは各職員がこれからどのように成長してほしいのかのビジョン（期待する人物像）を明らかにしていきたい。

- ・親睦会の実施

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため未実施。

- ・職員学習会における情報提供の実施

職員学習会毎にケース会議、情報提供を実施。特に TEACCH プログラムが考える構造化について再度確認し大切な視点を共有していった。何を大切にして支援をしていくべきなのか、次年度は実践に活かしていきたい。

### ③ 組織の安定と発展の追求

- ・継続的改善活動の実施

危機管理については今後整備していく課題も多い。次年度は委員会を立ち上げて確実な危機管理体制を確立していきたい。

#### 【職員配置と対応件数】

月	職員数		計画相談		地域移行	地域定着	備考
	定員	現員	作成	継続			
4月	2	2	27	36		2	
5月	2	3.4	11	29		2	
6月	2	3.4	20	40		2	
7月	2	3.4	28	37		2	
8月	2	3.4	24	41		2	
9月	2	3.4	17	52		2	
10月	2	3.4	23	43		2	
11月	2	3.4	24	39		2	
12月	2	3.4	20	55		2	
1月	2	3.4	22	57		2	
2月	2	3.4	15	45		2	
3月	2	3.4	14	70		2	
合計	2	3.2	245	544		24	

## 【令和2年度 年間行事実施報告】

### 保護者向け行事

行 事	計 画	実績と内容
座談会・学習会	5月20日 就学学習会	実施
	7月4日(岩山 TL) 9月5日(花巻 TL) 11月7日(花巻友里恵 TL)	中止 中止 実施 以下、平日開催に変更
	1月16日(佐分利M) 3月6日(渡邊 TL)	1月26日に変更し、花巻友里恵 TL 実施 2月24日 岩山 TL 実施 3月24日 渡邊 TL 実施
講演会	(高梁)11月28日 (吉備)2月予定	10月24日 講師：森川先生 12月19日 講師：諏訪先生 ※いずれも全事業所 実践発表実施
ペアレント トレーニング	6月6日 6月27日 7月18日 8月8日 8月29日	○コロナのため時期をずらして実施。 9月3日 9月7日 10月1日 10月15日 10月29日
親子クリスマス 療育	12月12日	12月18日 午前高梁会場 同日 午後吉備会場
地域イベント 出店	8月上旬 10月 日曜日	すべて地域行事中止

### スタッフ向け行事

行 事	計 画	実績と内容
学習会	4月 5月 7月 9月 1月 11月	4月5月コロナのため中止。 以下予定通り実施。 7月4日 9月5日 11月7日 1月16日 3月6日
職員親睦会	5月、9月、12月、3月	すべて中止。